



イラク復興支援群活動報告

17. 9. 15

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 報 (9月15日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具・具状なし
- 警備態勢：■■■■■
- 人道復興支援関連

◆ 医療

- 医療支援（超音波診断教育）を実施（出島地区）
別紙第1「医療支援（超音波診断教育）」

- 外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

学校の改修：

- アル・ホルード小学校（本校）の完成点検再点検を実施（サマーワ）
- 12カ所（サマーワ×7、ワルカ、ルメイサ、ヒラール、ダラージ、ヒドル）での役務作業
- 道路の改修：
 - ムタワク橋の施工状況確認を実施（スウェイル）
 - 別紙第2「ムタワク橋施工状況確認（スウェイル）」
- 4カ所（サマーワ×2、ルメイサ、スウェイル）での役務作業
- PHCの改修：
 - イステカラルPHCの施工状況確認を実施（ワルカ）
 - 10カ所（サマーワ×2、ヒドル×1、マジット×2、ルメイサ、ダラージ×1、ワルカ×3）での役務作業
- 給水関連施設の改修：
 - 2カ所（ワルカ、ルメイサ）での役務作業
- 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 3カ所（サマーワ×2、ルメイサ）での役務作業

全 報 (9月15日)

- ・ 清掃事業関連施設の改修：
 - 1カ所（サマーワ）での役務作業

◆ 人道復興関連物資等の輸送

- ・ 寄付関連物資の輸送調整（宿营地）

○ 宿营地関連施設の整備

- ・ 宿营地敷水
- ・ 冷凍コンテナメンテナンス
- ・ 20ftコンテナ撤収
- ・ 宿营地内路面成形作業
- ・ 六鳴館内装改修
- ・ コンボイ作業
- ・ 発電機整備（第1ゲート～第3ゲート）
- 9月15日現在の雇用人員
計672名（累計：304,018名） 細部別表「雇用者」参照
- その他（特記事項）
 - ・ 医療支援（超音波診断教育）を報道公開：別紙第1「医療支援（超音波診断教育）」参照
 - ・ ムサンナ県警察に対するODA器材供与式に業支隊警務専僚が参加（ムサンナ県県警本部）
別紙第3「ムサンナ県警察に対するODA器材供与式参加」
 - ・ 対外発信関連：FUJ | 9月号原稿調整（宿营地）
 - ・ 供与RO浄水機による配水なし（浄水フィルター洗浄のため）
9月15日まで計約41,035t（約9,118,889人分）配水（4.5リットル/人・日換算）

◎ クウェート分遣班

- ・ 訪問者対応CV予行（午後）
- ・ #4戦力回復輸送支援
- ・ ナビスタ国境通過支援（糧食、燃料）
- ・ CFLCC調整
- ・ 市内業者支払

全 員 (9月15日)

- ◎ バックアップLO
 - ・情報収集
 - ・情報資料の送付
- ◎ バスラLO
 - ・情報要求対応及び定例情報収集
 - ・定例会議への参加
 - ・空路輸送調整
- ◎ スミッティLO
 - ・情報要求対応 (デモ関連 特にサマーワ市内の状況)
 - ・各種業務調整
 - ・各種会議への参加
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・連絡調整：訪問者調整 (2件) 等
 - ・情報収集： [REDACTED]

別表

雇 用 者 (9月15日)

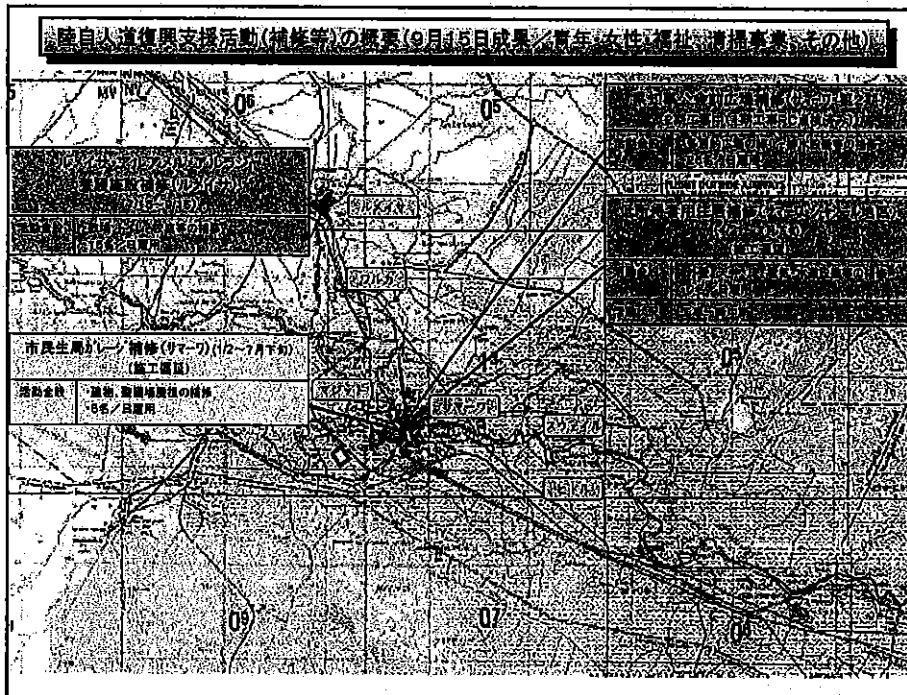
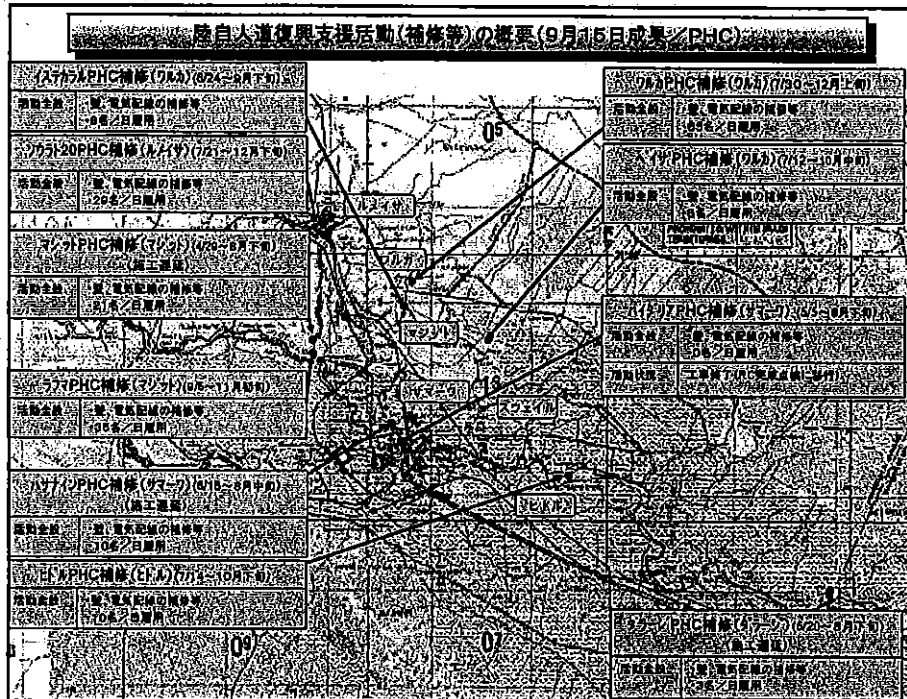
区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	187	483	672
	学校修復	154		
	道路補修	27		
	青年・スポーツ関連	40		
	清掃事業関連	5		
	給水関連	80		
宿営地内役務	通訳	62	179	
	警備	39		
	給仕	1		
	ゴミ処理	5		
	し尿処理	5		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	27		
	床屋	2		
	弁護士	1		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
耐震性強化施設補修	20			

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(9月15日成果<学校>)

7ル-7ア1-ウ男子小学校 7ル-7ア1-ウ女子小学校(ルイウ)(4/18~7月下旬) (施工遅延)		7ル-アクラス小学校(ルム) (4/11~6月中旬)
活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・15名/日雇用		活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・10名/日雇用
ルイウ-中学校(ルイウ) (4/20~7月下旬) (施工遅延)		サマウ-小学校(サマウ) (6/20~6月下旬)
活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・20名/日雇用		活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・24名/日雇用
サマウ-工業高校(サマウ) (6/7~6月中旬)		活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・15名/日雇用
7ル-ミサク中学校(サマウ) (4/2~6月中旬)		活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・40名/日雇用
7ル-ホルト小学校(サマウ)		7ル-ホルト小学校分校(サマウ) (7/8~10月上旬)
活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・4名/日雇用		活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・4名/日雇用
活動状況: 工事が終了(完成点検済済み)		活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・10名/日雇用
7ル-ト小学校(サマウ) (4/25~7月下旬) (補工内容修正のため停止)		サマウ-看護学校(サマウ) (6/17~6月下旬)
活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・10名/日雇用	活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・20名/日雇用	
7ル-ト小学校(サマウ) (6/28~7月下旬)	活動全般: 電、床、トイレ、電気配線の補修等 ・10名/日雇用	

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(9月15日成果<道路・給水関連施設>)

ルイウ市街地道路(6/1~6月上旬)		ムタワク橋の補修(スクエイル) (7/23~12月中旬)
活動全般: 砂利調整及び排水設備の補修 ・17名/日雇用		活動全般: コンクリートビーム張の補修 ・10名/日雇用
サマウ市内道路(アッサダー) (竣工式待ち(RC完成点検済み))		サマウ市内道路(ルイウ地区道路) (竣工式待ち(RC完成点検済み))
活動全般: 砂利調整及びアスファルト舗装 ・0名/日雇用		活動全般: 砂利調整及びアスファルト舗装 ・0名/日雇用



上段:増人員数 下段:減人員数		人員現況																		【備考】 総員の交代及び 増減人員の交代		
区分	所属人員	サマーワ		クウェート			パクダット		バスラ		キャンプ・スリフ		ドバイ		国外		国内					
		定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員	定員	増減人員			
7次更新期	481	481	0	481	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	481	-	-	-		
7次更新期 派遣隊	10	10	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-		
4次更新期	110	75	0	80	28	0	21	5	0	4	4	0	4	1	0	10	0	109	-	1	0	1
合計	801	808	0	800	28	0	21	5	0	4	4	0	4	1	0	10	0	800	1	1	0	1

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
 本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数:38名(第7次群TV電話合計:14名、FOMA合計:1031名)

		車 両														計						
区分	車種	小	中	救	軽	高	W	業	マ	施	水	燃	冷	セ	大		特	浄	重	溶	修	
		型	型	急	甲	機	A	4	イ	設	タンク	料	凍	ミ	型	大	水	レ	接	理		
IQ	サマーワ	13	10	2	43	19	6		1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	183	
	シャイバ																					
	バスラ						1															1
	タリル																					
	パクダット																					
計		13	10	2	43	20	6		1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	184	
KW	キャンプVA		1			3	1		2	1					8							16
	キャンプ 7リアジャン																					
	計		1			3	1		2	1					8							16
総計		14	10	2	46	21	6	2	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	200	

装備の現況 (武器)

		武器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマーワ							
	シャイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンブVA							
	キャンブアリアジャン							
	計							
総 計								

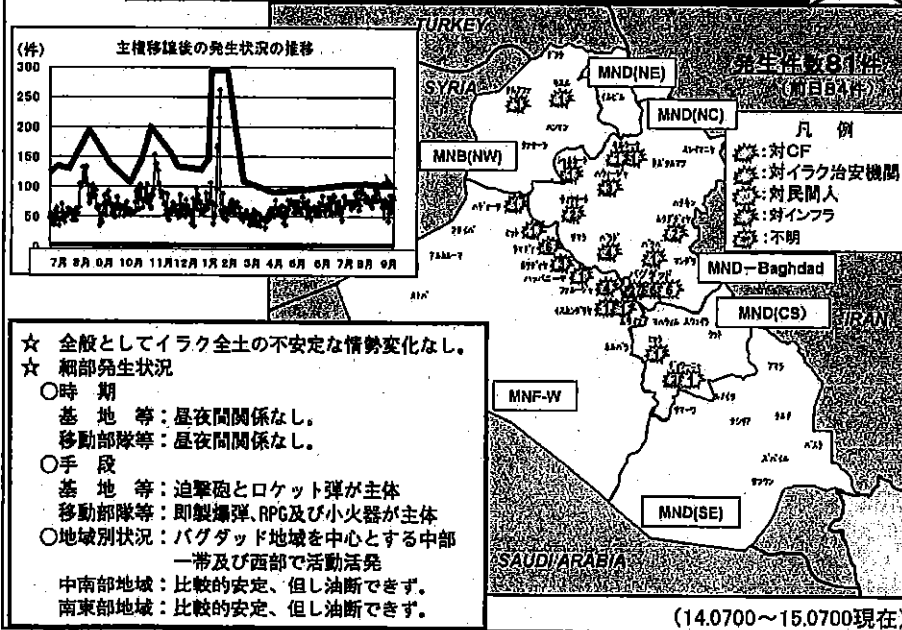
装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	201	200	1	0	WAPC×1 底板亀裂	後送中×1(本邦)
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	2	6	0	発電機コンプレッサ冷媒漏れ×5 発電機コンプレッサ動作不良×1	後送中(クウェート)
コンテナスキャナー	2	1	0	1	定期整備完了に伴う受け入れ	
エアコン	657	634	0	23		
発電発電機(6kw)	95	36	13	46	レギュレータ等不良×13	部品待×13
発電発電機(25kw)	67	44	8	15	ガバナ等不良×8	部品待×8
発電発電機(60kw)	59	45	1	13	燃料ポンプ不良×1	部品待
発電発電機(180kw)	17	15	2	0	オルタネーター不良×2	部品待×2
ロードローラ	1	1	0	0	オイルクーラ亀裂	部品待(応急修理完了)
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良	後送中(オランダ)

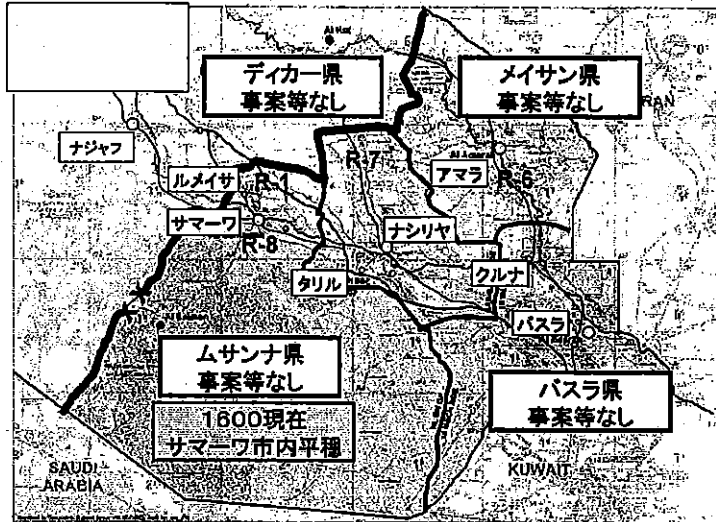
装備品等の可動・不可動の状況②

項目		総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考	
浄水セット	官品	4	4	0	0			
	民生	2	2	0	0			
遠距離監視システム	昼用							
	夜用							
近距離監視システム								
近距離暗視装置(V7)								
微光暗視装置(V3)								
空中監視装置								

全国の事案等の発生状況(昨日)



事案等の発生状況（14日07:00～15日07:00）



タルアファルにおける作戦に対するイラク・アルカイダの反応

【概要】

○タルアファルにおける作戦のイラク・アルカイダへの影響

- 再編成及び最近モスルで失った重要な指揮グループへの補充能力が低下。
- イラク北部における外国人テロリストの活動が一時中断。
- 威信の回復及び注意を他へそらす攻撃の必要性が増大。

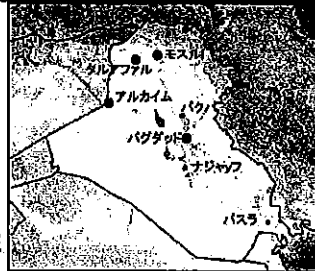
- ・9月14日、バグダッドにおける自動車爆弾攻撃が発生。
- ・今後予想される攻撃目標は、バグダッド、ディヤラ県・バabil県のシーア派居住地区

○9月11日、ザルカウィが声明を発表。

- 多国籍軍はタルアファルにおいて毒ガスを使用している。
- 多国籍軍は、タルアファルにおいて敗北する。最後の戦闘は近く、忍耐が必要。

○9月14日、イラク・アルカイダはタルアファルの復讐戦開始を発表。

- イラク・アルカイダは米国及びイラク移行政府に対する攻撃を戦闘員に命令
- ザルカウィは、シーア派に対する全面戦争を全土で開始するとの音声テープを発表。



タルアファルにおける作戦に対するイラクのアルカイダの反応②

【分析】

- モスルに続き、タルアファルにおける作戦によりイラク北西部のイラクのアルカイダは、混乱が拡大している。
- イラクのアルカイダは、活動基盤であるタルアファル喪失の対策として戦闘員を再編成のためシリア、ユーフラテス川流域、ディアラ県、サラディン県へ移動。
- ザルカウィは戦闘員に対し繰り返し忍耐を要求。バグダッド、ディアラ県・バビル県のシーア派居住地区における小規模な攻撃の連続が予想される。

【評価】

- ザルカウィの狙いは、タルアファル等における米・イラク軍による掃討作戦に対する報復及び政治プロセス妨害であり、宗派間対立の増大を企図していると思われることからアフティーン、シャバーン、ラマダン間の諸行事等の宗教行事を狙ったテロを継続すると考えられる。
- 南東部においてザルカウィ勢力が活動する可能性は低いとみられるが、ハスラにおいてスンニ派系武装攻撃(9月2日)、シーア派に対する自動車爆弾攻撃(9月7日)が発生するなど多国籍師団(南東部)地域内において宗派間の緊張が高まっており、他地域におけるイラク・アルカイダの犯行が、師団地域内での宗派間の緊張を増大させる可能性もある。

イラク全土の全般情勢評価(9.15)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に、中北・西部において多国籍軍及びイラク治安機関に対する攻撃継続 ●新政権発足後も攻撃件数は依然高い水準を維持 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 	8/26追加 8/8追加
スンニ派過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安機関・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサル・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性 ●ザルカウィ関連Gpの活動が活発化 ●シーア・スンニ宗派間対立を企図したテロ発生の可能性 	9/15追加 9/1追加
FRE	●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●南東部での活動を活発化させている可能性 	8/8追加
トレンド(特異事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●食物への毒物混入を確認 ●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引) 	7/19追加 9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価 (9.15)



(8月29日の報告以降、変化なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定→アマラ、バスラで多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃発生 ●メイサン県等で即製爆弾攻撃ネットワークが活動している可能性 ●キャンプアブナジに対する間接射撃が継続 	8/17追加 8/3追加 8/8追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●バスラ・メイサン県で即製爆弾増加傾向 ●外国人テロリストが自爆テロを企図した可能性 (シリア人による自爆テロについては捏造の可能性) 	8/13追加 8/15追加
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 ●サマーワ市でサドル派民兵の活動活発化の可能性 ●サドル派とSCIRI(シーア派政党)との間に武力を伴った衝突が発生したが、事態が暴力的にエスカレートする可能性は小 	8/8追加 8/28追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> ●即製爆弾・自動車爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出し カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ●ASRサークル路面状況悪化(タンバは開通予定延期) ●移動中のコンボイに対する自動車爆弾の可能性 	7/23追加 7/22追加
タリルAB	即製爆弾・自動車爆弾、不発弾、空港への迫撃砲攻撃に警戒	
トレンド	南東部における遠隔操作即製爆弾が増加	

ムサンナ県の全般情勢評価 (9.15)



(9月9日の報告以降、変化なし)

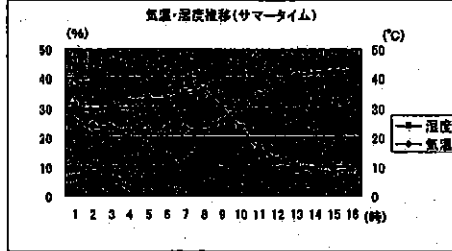
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定、しかしながら油断は出来ず ●サマーワの治安に関する組織、情報等は混乱 ●サドル派が活動を活発化させている可能性 ●県知事の辞任・県評議会議長解任をめぐる情勢が不安定化する可能性 	7/30追加 8/8追加 8/11追加
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり ●シリア人テロリストがサマーワ市のデモを利用した自爆テロを企図した可能性(捏造の可能性) 	8/13追加 8/15追加
サドル派	●サドル派とSCIRI(シーア派政党)との間に武力を伴った衝突が発生したが、事態が暴力的にエスカレートする可能性は小	8/28追加
部族関連	●宿营地警備等の雇用の増大を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	7/7追加
デモ関連	●電気、水、ガソリン等の比較的良好な状況が継続し、気温も低下してきていることから、デモ発生の公算は低下していると考えられるが、知事辞任要求のデモ発生の可能性は依然存続	9/9追加

現地の気象情報

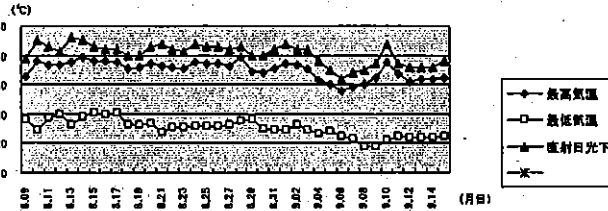
報告内容

日の出 : 0642
 日の入 : 1905
 月 齢 : 11.5
 月出没 : (出 15日1737~没16日0427)
 天 候 : 晴れ
 気 温 : 最高42.4 最低22.2℃
 : 最高48℃(直射日光下)
 湿 度 : 23.7%
 風 速 : NW 3~5m/s

サマータイム



月間推移



9月16日(金)の活動予定

コール	行動名	時 程	活 動 内 容 等	車 両
J1	群長の行動	0720	陸軍長報告	
		0750		
		0800	厚生活動(曹友会綱引き大会)	
		1030	宿営地内勤務	
		1820		
		1520	活動命令(案)決断	
		1630	隊デイリーミーティング	
		1645	電話会議	
1716				
J2	業務支援隊長の行動	0800	厚生活動(曹友会綱引き大会)	
		1030	宿営地内勤務	
		1600	隊デイリーミーティング	
		1615		
		1645		
J201	GRF(A)			
J202	GRF(B)			
S6☆	後務班精員配数	0530~	宿営地~運河曹隊位置~宿営地	
		1130~		
		1830~		

9月16日(金)の活動予定

コール	行動名	時 限	活動内容等	車 両
S12★	浄水活動(運河)	0730~1200	大量送水システム整備・運転・物品移動	LAV(H)×1 大型(H)×1
S13e	宿営地内工事、作業	0800~1200	宿営地放水	
S13b		0800~1800	冷凍コンテナメンテナンス	
S13c		0800~1800	ゴミ回収	
S13d		0800~1800	屎尿汲み取り	
S13e		0800~1200	物品の拿捕・整理	
S13f★		0730~0830	汚水処理作業	LAV(H)×1 大型(H)×2
S15	群主力の行動	0800~1030	厚生活動(曹友会綱引き大会)	
		1030~1800	宿営地内活動	
S16	空中監視活動	16日 0730 ~ 17日 0730	空中監視活動	

9月16日(金)の活動予定

クウェート分遣班	バウダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問者対応(大使館支援) ・整備日 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・定例情報収集 ・定例会議への出席 ・空路輸送調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・各種業務調整 ・各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・訪問者調整(2件)等 ・情報収集

医療支援（超音波診断教育）



同社公明市行の超音波診断教育



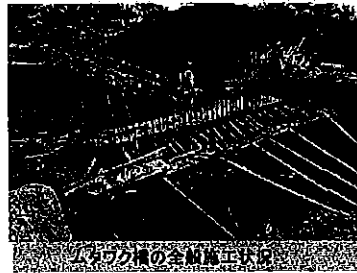
同社公明市の超音波診断教育



医療支援社公明市の超音波診断教育



ムクワク橋施工状況確認（スウェーデン）



ムクワク橋の全貌確認



ムクワク橋の全貌確認



ムクワク橋の全貌確認



ムクワク橋の全貌確認

ムサンナ県警察に対するODA器材供与式参加



ムサンナ県警察職員、外務省職員、池島2佐



ODA器材供与式の様子



自衛隊を代表して挨拶する東支隊警務課池島2佐



挨拶する外務省職員

17. 9. 15
イラク復興支援群

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項

—(先日、発生したバグダッドにおける連続爆破テロに関して)当地にただちに波及することは、ないと思う。しかし、この事案に対するムサンナ県内、サマーワ市内における反応を注目しておくこと。

—(イラクのジバリ外相、ムサンナ知事による時期(14日)を同じくするサマーワ駐留陸自部隊の派遣延長期待の発言記事に関して)兼支S-2等は、本発言内容をよく確認し、我々の活動にどのような影響を及ぼすのか分析してもらいたい。本発言が、復興支援活動を容易に行うためのことになることを期待する。

—本日のJ任務も気をつけて活動せよ。

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項

—今週もご苦労であった。特に、高官対応、そしてサマーワ市内の偵察等を実施し、活動範囲も段階的に広げることができ、重要な局面にきていると実感する。来週も、引き続き、J任務の実行ペースを維持する必要がある。このため、現在、市内における活動モデルを群S-3に作成するように指示している。豪軍等と連携して作成を行ってもらいたい。また、兼支隊が作成したラマダン期間の対応要領に基づき、同期間中のJ任務を含めた活動要領(モデル)に関して準備せよ。

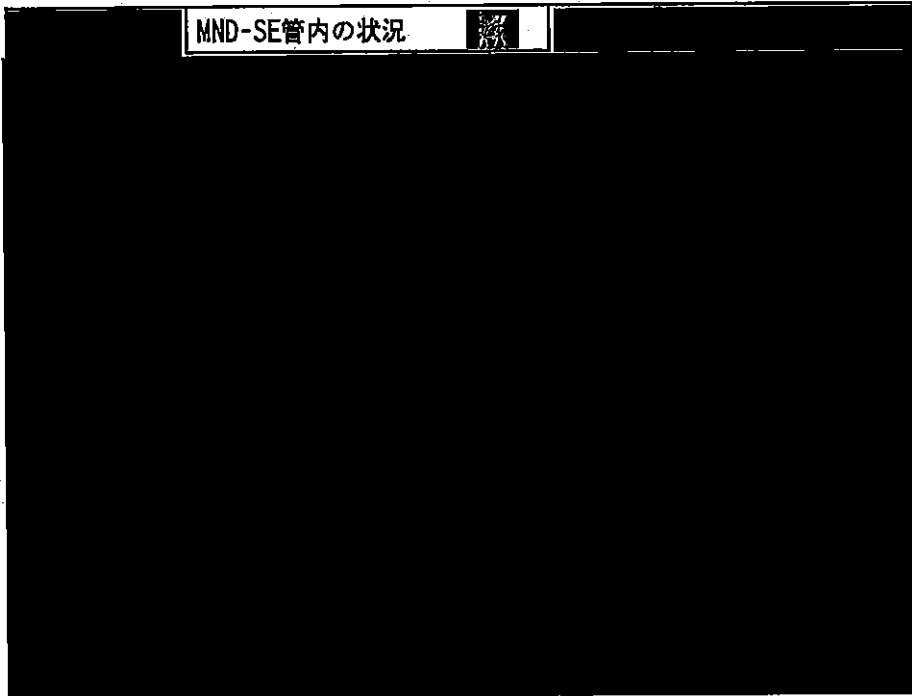
区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッドは [REDACTED]、モスルは [REDACTED]
2 特記事項	なし
3 本日の業務	情報収集及び情報資料の送付等
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	[REDACTED] 戦力回復(9月14日~9月21日)

区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし [REDACTED] Threat Level [REDACTED]
2 特記事項	特になし。
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 治安情勢(デモ関連、特にサマワ市内の状況) (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	(1) 明日の英・豪軍等の射撃 Range1-3 0700-1900 LD(小火器) (2) 明日の英・豪軍等の陸自宿営地訪問 豪軍/トロールx1 (3) 明日のAMTG支援(エスコート) なし。

バスラLO日々業務報告(9月15日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	バスラ空港 ・ 警戒レベル : ・ 警戒態勢 :
2 特記事項	
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9 部隊統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	なし

MND-SE管内の状況



クウェート分遣班業務報告

17.9.15

全般

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 国内情勢等 ○ 人員・武器等異状なし ○ 人員報告: 所属人員24名、事故人員4名(サマーワ研修2名、戦力回復2名)、現在員20名 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 天候: 晴れ ○ 気温: 最低: 32.5℃ 最高: 47.0℃
(直射日光下の最高気温: 49.2℃) |
|---|---|

本日の行動

恒常業務・その他

- 運用局長対応CV予行(午後)
- #4戦力回復輸送支援
- 対スリ国境通過支援(糧食燃料: サマーワへ)
- 市内業者支払
- CFLCC調整
- 通関予定審議

明日の予定

恒常業務・その他

- 運用局長対応(大使館支援)
- 整備日

その他(教訓・要望事項等)

クウェートLO日々業務報告(9月15日1900)

区分	内容	
1 警戒態勢等	警戒レベル部分引下のまま () (1) 国家公安部、石油関連施設、大使館等重要防護施設防護部署及び国境警備隊等部署: 警戒強化中 (2) 日本国外務省渡航安全情報(危険情報): クウェート全土「十分注意」(N/C)	
2 特記事項	なし	
3 本日の業務	<p style="text-align: center;">大 使 館</p> (1) 連絡調整等 ア 訪問者調整(2件) イ ODA物資の軍事国境通過要領分遣班担当調整 (2) 情報収集 ア 公電 本 イ 新聞会議 特記事項無し	<p style="text-align: center;">CFLCC</p> (1) 連絡調整等 ア 訪問者調整 () C130不飛行時対応要領調整 ヘリ飛行延期 CENTCOMのORDERによる CampARIFJAN研修(特に戦車整備工場) イ 大使館員によるCampARIFJAN研修依頼 10月21日の方向で検討 ウ サマーワ訪問 10月17~19日で調整 (2) 情報収集 ア クウェートの「Combined and Joint Logistics Operations Center(CJLOC)」開所について 当方 により、「Combinedの意味は、米軍がクウェート軍にも兵站支援をするという意味か」と確認したところ、CFLCC-C9 により、「クウェートの土地・施設を借りて開設したという意味でのCombinedであり、とくにクウェート軍に対して支援することはない」との回答を得た。
	4 明日の予定	(1) 連絡調整等 ア 訪問者調整(2件) イ 防衛省推薦ホテルの確認 (2) 情報収集 ア 公電 イ 新聞会議
5 その他(備考)	なし	